

5-3 警戒レベル・イベント設定

データごとに、警戒閾値と解除閾値を設定できます。これを、おんどロイドでは「警戒線レベル」といいます。また、警戒線レベルを超えると発生させる動作を設定でき、これを「警戒線イベント」といいます。
※文字列の記録データは警戒線イベントの対象にはなりません。

- ① グローバルメニューの「設定」をクリックし、「警戒レベル・イベント設定」をクリックします。



警戒線設定ページに切り替わります。

データごとに、警戒線レベルと警戒線イベントの情報が表示されます。

この計測値には警戒線レベルは設定されていません。

変更 警戒線イベント共通設定

イベント共通の動作設定を行います。

イベント動作設定 イベント毎の設定に従う

編集する警戒線を選択してください。 関連イベントを非表示にする▲

■ 温度 (温度計) _EOE11015 (℃)

選択	方向	レベル	警戒	警戒解除	太さ	緑色	名称
新規	新規登録します						

■ 温度 (温度計) _EOF11046 (℃)

選択	方向	レベル	警戒	警戒解除	太さ	緑色	名称
	↑上	1	25	23.1	細	FFFFFF	温度上昇時警戒

関連イベント

選択	優先度	動作	利用状態	警戒時外部通知	警戒時出力	警戒時メール	解除時出力	解除時メール
選択	1	毎回	利用中	設定中		【警戒】温度上昇		【解除】温度上昇
選択	2	毎回	停止中					
新規	新規登録します							

新規 新規登録します

■ 温度 (温度計) _EOF11046 (%)

選択	方向	レベル	警戒	警戒解除	太さ	緑色	名称
新規	新規登録します						

警戒線レベルの
情報

警戒線イベントの情報

※「関連イベントを非表示にする▲」をクリックすると、表示されません。

- ② [イベント動作設定] では、設定済みの警戒線イベントをすべて一時停止するか、実施するかを選択できます。

[変更] ボタンをクリックすると、画面が切り替わります。

変更 警戒線イベント共通設定

イベント共通の動作設定を行います。

イベント動作設定	イベント毎の設定に従う
----------	-------------



警戒線イベント共通設定

イベント共通の動作設定を行います。

イベント動作設定	イベント発生時、各機能の利用と停止を切り替えます。対象機能：「外部システムへの通知」「メール送信」 一時停止設定は、各イベント毎の利用状態に関わらず、有効になります。
----------	--

イベント毎の設定に従う ▼

イベント毎の設定に従う

一時停止する

戻る 登録

[イベント毎の設定に従う] か [一時停止する] かを選択して、[登録] ボタンをクリックしてください。

- ③ 新しい警戒線レベルを設定するときは、設定したいデータの [新規] ボタンをクリックします。

■ 温度 (温度計) _EOE11015 (°C)

選択	方向	レベル	警戒	警戒解除	太さ	線色	名称
新規	新規登録します						

- ④ 編集用のページに切り替わるので、警戒線レベルについて設定します。

警戒線設定

警戒レベル情報の設定を行います。通知を発報する警戒値や警戒の解除値を設定します。設定内容の詳細については [ヘルプ](#) を参照してください。

値の方向 上方向 (正) ▼

警戒レベル (※自動設定)

警戒レベル名 必須

警戒値 必須

警戒解除値 必須

グラフ表示 太さ なし ▼ 色 FFFFFFFF

※対象データが数値ではなく文字列の場合は、警戒レベルは適用されません。
※上方向の場合、「警戒値 ≤ 計測値」で警戒状態となり、「計測値 < 警戒解除値」で警戒状態が解除されます。
例えば、計測値が1で警戒、0で警戒解除としたい場合は、警戒値には1、警戒解除値には0より大きな値を設定してください。

※ イベントを一括に登録する

値の方向：上昇するデータに対して警戒線レベルを設定する場合は[上方向 (正)] を選択します。下降するデータに対して警戒線レベルを設定する場合は[下方向 (負)] を選択します。

警戒レベル名：この警戒線レベルに名称をつけます。わかりやすい名前を自由につけてください。

警戒値：この警戒線レベルの警戒閾値を設定します。上方向の警戒線レベルは「警戒値 ≤ 計測値」で警戒状態になり、下方向では「警戒値 ≥ 計測値」で警戒状態になります。

警戒解除値：警戒値を超えてから値が戻る際に、警戒を解除する閾値を設定します。警戒値と同じ値でも構いません。上方向の警戒線レベルは「計測値 < 警戒解除値」で警戒が解除され、下方向では「計測値 > 警戒解除値」で解除されます。

グラフ表示：グラフに、警戒値の補助線を表示したいときは、[太さ] で [細] [中] [太] [極太] のいずれかを選択します。また、[色] をクリックしてカラーピッカー (<P.5>) から色を選択したり、カラーコードを入力します。

- ⑤ この警戒線レベルに警戒線イベントが必要ないときは、[イベントと一緒に登録する] のチェックを外して、[登録] ボタンをクリックします。

警戒線イベントを設定するときは [イベントと一緒に登録する] をチェックしたまま項目の設定を続けます。

警戒線イベントの設定には、プログラミングの知識が必要です。詳しくは、端末管理者向けのヘルプ（＜P.24＞）を参照するか、弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

● 既存の警戒線レベルや警戒線イベントを変更するとき

- 1) [選択] ボタンをクリックすると、既存の警戒線レベルや警戒線イベントの内容を変更できます。

警戒線イベントを変更するときは、こちらの [変更] ボタンをクリックします。

警戒線レベルを変更するときは、こちらの [変更] ボタンをクリックします。

- 2) 設定内容を編集できるページに切り替わるので、変更して [登録] ボタンをクリックします。

● 既存の警戒線レベルや警戒線イベントを削除するとき

前記の「選択」ボタンをクリックして切り替わるページに、「削除」ボタンがあります。

警戒線レベル 1 (※自動設定)

警戒線レベル名

警戒値

警戒解除値

グラフ表示 太さ なし 色 FFFFFFFF

※対象データが取値ではなく文字列の場合は、警戒レベルは適用されません。
 ※上方向の場合、「警戒値 ≤ 計測値」で警戒状態となり、「計測値 < 警戒解除値」で警戒状態が解除されます。
 例えば、計測値が1で警戒、0で警戒解除としたい場合は、警戒値には1、警戒解除値には0より大きな値を設定してください。

戻る 削除 登録

「削除」ボタンをクリックすると、その警戒線レベルや警戒線イベントが削除されます。

● 警戒線イベントの検知ルール

- 一度の送信データに複数回の記録データがある場合

(1分サンプリングのデータを5分ごとに送信するなど)

送信データの中の、最も新しい記録データと警戒値を比較します。そのため、途中の記録データが警戒値を超えていても、最新の記録データが警戒値を超えていない場合は警戒線イベントは発生しません。

警戒解除も同様です。すでに警戒線イベントが発生している状態で、次の送信データの途中で警戒解除値を割っていても、最新の記録データが警戒解除値を割っていなければ警戒解除イベントは発生しません。

- 警戒線レベルが複数設定されている場合

上方向（正）では一番大きい警戒値、下方向（負）では一番小さい警戒値の順に、警戒線イベントが適用されます。

例)

方向／レベル	警戒値	警戒解除値
↑上2	100	90
↑上1	80	70
↓下1	-80	-70
↓下2	-100	-90

計測値が95の場合：↑上1が適用される

計測値が100の場合：↑上2が適用される(↑上1も超過しているが、↑上1は適用されない)

計測値が-80の場合：↓下1が適用される

計測値が-100の場合：↓下2が適用される(↓下1も超過しているが、↓下1は適用されない)

警戒中に警戒解除と警戒値の超過が同時に発生した場合は、警戒解除イベントと警戒イベントが1回ずつ発生します。上の例の場合、計測値が100になり警戒状態になったのち、次の計測値が-100の場合(正方向から負方向の場合)は、↑上2の警戒解除イベントと↓下2の警戒イベントがそれぞれ発生します。同方向の場合も同様で、計測値が100になり警戒状態になったのち、次の計測値が80の場合は、↑上2の警戒解除イベントと↑上1の警戒イベントがそれぞれ発生します。